

1 丘珠空港の利活用に関する検討会議について

■ 「丘珠空港の利活用に関する検討会議」に係るこれまでの経緯等

- 道内7空港の運営の民間委託に向けた動き（検討）や航空機の騒音レベルの低下・離着陸性能の向上といった技術革新など、丘珠空港を取り巻く環境が大きく変化していることを踏まえ、平成28年6月の北海道・札幌市行政懇談会の場において、北海道知事と札幌市長が丘珠空港の利活用の促進に向けた取組の連携に合意し、同年7月に北海道と札幌市が、丘珠空港の課題や役割などを様々な観点から検討し、利活用の促進策について協議する場として設置。
- 平成29年2月に、利活用に向けた課題を整理し、今後の検討項目や対応について中間報告を行った。
- 中間報告として取りまとめた検討項目などについて、平成29年度に具体的に調査・検討し、検討会議として丘珠空港の利活用策の報告書として取りまとめを行った。

■ 報告書の目的

- この報告書は、丘珠空港の利活用策について、市民や有識者、関係者などが幅広く議論ができるよう、そのベースとなる情報をケーススタディとして提供し、共有するために作成したもの（丘珠空港に関する今後の方針や計画を策定するものではない）。
- 平成30年度からは、報告書の内容を基に、市民や有識者、関係者などの意見を踏まえ、今後の丘珠空港の利活用のあり方について議論を更に深めていく。